

2024(令和6)年度

# 子ども・若者ご縁づくり推進にかかる活動方針・事業計画書

2023(令和5)年度 基本立案第45号 (2024年3月29日付決裁)

## 1. 目 的

親鸞聖人のみ教えのもと「あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会」の実現に貢献する。

## 2. 活動理念

キッズサンガの理念を継承し、「ご縁づくり」を「教化活動」ととらえ、全宗門をあげて「既にご縁のある者一人ひとりが、子ども・若者層を対象に阿弥陀さまのご縁に共に遇ってゆける活動」を行うことで、子ども・若者たちが親鸞聖人のみ教えに親しみ、お聴聞する人となってもらう。

## 3. 活動テーマ

浄土真宗とのご縁を～つくり・つなぎ・深める～

## 4. 活動方針

宗祖が明らかにされたみ教えを体し、次の世代を生きる子ども・若者が「阿弥陀さまを拠りどころに手を合わせ、お念仏申す」人となってもらいたいとの思いを具現化するための方針・方策を提案のうえ活動を推進する。

### (1)ご縁を「つくる」(浄土真宗の窓口)

格差が広がりつつある現代社会や新型コロナウイルス感染症流行等著しい環境の変化の中で、人と人との関係性が希薄になり自己肯定感を持たず生きづらさを抱える子ども・若者が増加している。その現状を知り、今までご縁がある・ないに関わらず一人ひとりとの関係を大切にしながら、仏教(浄土真宗)の教えに馴染んでもらうために、一つでも多く「ご縁づくりの活動に取り組む現場をつくる」ことに注力する。

### (2)ご縁を「つなぐ」

ご縁づくり推進ガイドラインの「3つのかたち」(97ページ※1参照)「3つの視点」(97ページ※2参照)で活動に取り組むことへの重要性を伝えると共に、次の世代へバトンを渡すため、人材育成に注力する。

また、宗門の教化体制を再確認し、今後の継続した活動の骨子となるよう「青少年白書（仮称）」を編纂すると共に、情報共有や人材育成の支援を行う体制を提案する。

### （3）ご縁を「深める」

ご縁ができた方々と共にお念仏のみ教えを喜び、お寺が人生の拠りどころ（お育ての場）となり、聴聞を重ね、ご縁を深めていく活動を推進する。

## 5. 事業計画

『「ご縁づくり」活動推進会議』、「子ども・若者ご縁づくり推進委員会」と「部会」及び「子ども・若者ご縁づくり推進室（以下「推進室」という。）」が協働して事業を推進する。

### （1）「ご縁づくり」活動推進会議（マネージャー会議）

- ①ご縁づくり活動推進の現状把握並びに今後のご縁づくり活動推進策の検討
- ②各部会における活動内容の把握、必要に応じて提言
- ③子ども・若者ご縁づくり連絡協議会の内容検討
- ④その他

### （2）子ども・若者ご縁づくり推進委員会

- ①「ご縁づくり」推進上の課題について共有と協議
- ②子ども・若者ご縁づくり連絡協議会や教区マネージャー研修会等の内容確認及び運営
- ③その他

## 【部 会】

### 〈子どもご縁づくり部会〉

- ①子どもへのご縁づくり（キッズサンガ）推奨と事例収集および広報
- ②人材育成（寺院子弟等）にかかる活動の推奨
- ③ その他

### 〈若者ご縁づくり部会〉

- ①現代版寺子屋「スクール・ナーランダ」の企画・実施
- ② スクール・ナーランダの要素を取り入れた新たな伝道活動の提唱
- ③ その他

### 〈思春期・若者支援部会〉

- ①思春期・若者支援にかかるシンポジウムの開催

- ②思春期・若者支援コーディネーター養成研修会修了者への支援とネットワーク構築の検討
- ③社会課題である「若者の生きづらさ」に寄り添う取り組みについて、宗派内外への発信
- ④ その他

### (3) 推進室

- ①「ご縁づくり白書」(仮称)の編纂と公開(作業部門を編成)
- ②WEBサイトの管理と更新
- ③僧侶育成機関及び研修会等においてご縁づくり周知を図る。
- ④各教区「子ども・若者ご縁づくり」推進事業に対する助成支援
- ⑤その他推進全般

### 【活動内容参考資料】

#### ○教区・組での取り組みのために

- ・子ども・若者ご縁づくり連絡協議会及び研修会の開催
- ・教区サポーターの発掘・養成並びにスキルアップ研修
- ・組における子どもの集い～キッズサンガ～再スタートの促進(教区少年連盟と共に)
- ・子ども・若者の現状(思春期・性の悩みなど)を学ぶ講座・研修会の実施
- ・生きづらさを抱える子ども・若者へ寄り添う取り組み(子どもの貧困への取り組み、子ども食堂・おやつクラブへの参画等)
- ・組や寺院に対する児童念仏奉仕団への参加奨励(少年連盟と連携し、教区で奉仕団を組織することも可能)
- ・仏教婦人会連盟と連携した初参式・小学校入学祝い会等の開催奨励
- ・次世代の寺院子弟育成(教区・組「寺院子弟研修会」の開催)
- ・中学・高校生年代との接点をつくる「つどい」の奨励及び情報発信
- ・若者層の仲間づくりを促す取り組み(仏教青年会連盟と共に)

#### ●宗派(推進室)として取り組む事項

- ・「子ども・若者ご縁づくり」の方向性を宗派内に周知する活動(継続事業)
- ・カルトから子ども・若者を護る対策等における総合研究所との連携
- ・教化団体(特に仏青連盟)及び龍谷総合学園との連携強化
- ・保育連盟・少年連盟等、教化団体と教材・人材・手法に関する共有連携
- ・次代の僧侶・寺族の育成のため教区並びに有志で取り組まれている教区青年僧侶の会・教学勉強会・勤式学習会などへの後方支援

- ・メディアやインターネット（SNS）を利用した情報戦略に関する取り組み
- ・新しいカタチの伝道活動を企画実施・提案（坊主barなど広範囲で）
- ・教材の作成及び各教区作成の教材紹介・斡旋、並びに取り組み事例紹介
- ・他宗派と次世代育成についての意見交換及び交流
- ・その他必要と思われる事項

#### ※1 「3つのかたち」

##### ①日常生活でのご縁づくり

子ども・若者たちの生活の中で「合掌すること」「お念仏を称えること」が自然に身につくように働きかける

##### ②平素の法務、法要、行事でのご縁づくり

子どもや若者たちに法務、法要、行事を通して阿弥陀さまのご縁をつくりお寺に馴れ親しんでもらう。

##### ③子ども・若者に特化した集いでのご縁づくり

子ども・若者にお寺に集ってもらい様々な行事を行う

#### ※2 「3つの視点」

##### ①子ども・若者の今にみ教えを

子ども・若者の置かれている現状を学びつつ、阿弥陀さまの救いを伝える

##### ②お寺を本来のすがたに

様々な年代の人々が、み教えとともに集うお寺のあり方をめざす

##### ③お寺どうしが力を合わせて

組内寺院が申し合わせをし、各寺院が支え合う

#### 〈付註〉

- ・「子ども・若者ご縁づくり推進ガイドライン」P5～P9参照
- ・「子ども・若者ご縁づくり」～キッズサンガをさらに～スタートアップガイド参照